

## 啓明大学校との第一回研究会

### ——報告と討議の概要——

韓国の啓明大学校との「学術・文化交流協定」にもとづく具体的な学術交流の第一歩として、去る7月22日、次のような内容をもって第一回共同研究会が開催された。

1. 韓・日経営比較研究の比較経営学的方法  
啓明大学校経営大学経営科教授

金 鏞 淇 氏

2. 韓日会計公示制度の比較  
啓明大学校経営大学会計科教授

鄭 基 淑 氏

この研究会は、当面の統一論題として「日本

・韓国における経営管理システムの比較研究」を設定し、この論題の報告のほか、自由に論題を設定しておこなう報告を組み合わせしていくことに双方が合意してはじめられたものであるが、この趣旨にそって当初は呉世昌氏（社会科学大学貿易科副教授）の「貿易管理に関する認識の提唱」と題する報告も予定されていた。しかしこれは後に報告者の都合によってとりやめとなり、その結果上記二氏の報告となったものである。以下は二氏の報告内容とそれをめぐる討議経過の概要である。